

## 助成事業実施報告書

団体名 RDAJapan

代表者・役職名 氏名 理事長 中田順寿

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 助成プロジェクト名

障がい者乗馬活動のインストラクターとヘルパー養成のための講習会及び RDA 活動

## 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

RDA は、障がいを持つ人たちにも健常者と同じように乗馬を楽しむ機会を提供し、健康や暮らしの質の向上を図ることを目的として1964年に結成されたイギリスに本部を置く慈善団体で、アン王女が総裁を務めています。RDAJapan は、このイギリス RDA の理念に基づき、RDA 本部より承認を受け、1988年に日本の実情に合った形で任意団体として発足しました。

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

RDAJapan では、国内の障がい者乗馬のインストラクター養成を最初に創めた団体としての実績と実益を必要とされ、人材派遣や講習会開催を依頼されています。

安全で正しい活動を展開できる障がい者乗馬を行なう人と場所を増加させる為に、各地でインストラクターやヘルパー養成のための講習会を開催することが急務であるからです。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

障がい者乗馬活動インストラクターとヘルパー養成のための「ヘルパー講習会総合」を実施する。「ヘルパー講習会総合」はインストラクター、ヘルパー養成のための4つの講習会のうち、最も基礎的な内容の講習会である。1日で実技も座学も行なう内容となっているので、ヘルパーを目指す人、障がい者乗馬について知りたい人などのきっかけになることが期待されます。

あまり馴染みのない障がい者乗馬について稲城市民の方々に、講習会を通じて知って頂きたいと思っています。

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生じた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

講習会は、馬が5頭、総勢30名、約3時間の内容となりました。前半はリーダー・サイドウォーカーの役割、乗下馬の方法、緊急下馬など RDA 活動の基本について、RDAJapan インストラクター 中田順寿講師による講義、後半は実際の活動を通し、実技形式で行ないました。今回一般の方へ向けて広報の発信を行なうことができ、多数の参加がありました。いずれの参加者もホースセラピーに興味があり、活動には初めての参加でした。講習会の開催意義や有益性を改めて確認することが出来ました。

## 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

RDAJapan の講習会(試験も含めて)においては活動に必要な馬の確保がとて難しく、費用も講習会全体の中でも比率が高くなりがちであり、又施設の確保(借用)も重要な課題となっています。今回は稲城市の協力を得ることができ、RDAJapan の講習会を開催することが出来る公園を無料で借用することができ、大幅に経費の削減が出来ました。東京都内で活動を行なう重要性について十分認識をもっていたが、馬や施設の確保が難しいところ、このような講習会が開催できて良かったです。

## 7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり

特になし